

会員紹介

萩山町

萩山町とは

- ◆ 東村山市の南部に位置し、町設置以前の大字は野口、久米川、大岱である。
- ◆ 地名の由来は大字野口字萩山からきており、現在の住宅街もかつては大部分が雑木林で、秋には萩の花が美しく彩ったと言われている。
- ◆ 萩山町を横断する**多摩湖自転車道**は 桜、ツツジ、あじさい、さざんかなど 四季折々の花を楽しみながらサイクリング、散歩、生活道路として利用されている。
- ◆ **小平霊園**は正門を含めて敷地の約半分が萩山町（1 丁目一部と 5 丁目の半分）である。



四季折々の花が美しい**多摩湖自転車道**



緑溢れる**小平霊園**

会員プロフィール・近況



市川彰彦さん(昭 36 文)：「八十路を越えて次は何の路？趣味を求めて今日はオカリナ、ギターと飽きることなし」



遠藤 誠さん(昭 49 理工院)：「多摩湖や小金井公園への水道道路、空堀川や野火止用水沿いのコースなどをランニングしています」



太田陽一さん(昭 58 法)：「勤め人生活終盤に、コロナ禍は試練ですが めげずに頑張っております」



大森平八郎さん(昭 40 商)：「一日の大半は TV 視聴。健康維持の為軽めの体操と一駅先の久米川迄歩き、駅前のマックで小一時間の読書と帰宅後書道を楽しむ。大学の書道部以来続ける書は毎年少しづつ会得する処があり終りがないので生涯続けて参りたい」



加藤正俊さん(昭 49 商)：「息子家族と夕食を共にするようにしたら酒の量が増え、逆に体重は減り、医者にはほめられました（酒量の増加は内緒です）」



木原晴彦さん(昭 47 政経)：「最近ウォーキングを始めました。1 日 3000 歩です。体調はすこぶる良好」

会員紹介



小久保清さん(昭36法)：「脊椎管狭窄症になり全く外出できない状態です。易経の勉強に取り組んでいます」



小菅 宏さん(昭39理工)：「コロナ禍で、東京オリンピックをテレビ観戦しています。前は早稲田を卒業した年でした。卒業前に前売りチケット売り場に並んだのが懐かしい。自由に外出が出来る日が早く来ることを願っています」



崎山裕子さん(昭52教育)：「26 年前に東村山に転居、直後に稲門会の創立に誘われる。停年退職後は、外国籍の子供に日本語を教えるボランティア。コロナで愛猫とステイホーム中です」



滝川桜子さん(昭40文)：「準備会、所沢キャンパスで第1回設立総会で輝いていた先輩、担当したお誕生会で時間が足りなくなるほど力強く語られた多くの先輩も思い出の人になり始めている。寂しさと共に【集まり参じて人は変われど・・・】素晴らしい校歌も脳裏に浮かぶ。25年の歴史が刻まれたコロナ禍での静かな日々は、いろいろ感慨深い思いで過ぎていく。コロナよ、早く収束を！」



滝川正義さん(昭40商)：「25周年おめでとうございます。幾多の先達のご尽力に感謝いたします。50周年に向け皆で進取の精神を発揮してがんばりましょう」



宮元祥吏さん(昭44理工)：「一昨年10月に免許返納、今は歩きと自転車で頑張っています」



山下邦康さん(昭36教育)：第2代東村山稲門会会長



吉田 勝さん(昭43理工)：「“80歳までゴルフとテニスを楽しむ”という目標にあと3年となりました。更に目標アップして楽しみたいです」

荻野三善さん(昭52理工)：「毎朝のラジオ体操や、週末のグランドゴルフで体を動かしていますが、如何せん日々の運動量が少なく、体重増加に拍車がかかっております」

辰巳慎次さん(昭34政経)
津野慶浩さん(昭37商)

会員紹介

富士見町

富士見町はこんな町

- ◆昭和 39 年（1964 年）の市政施行に伴い誕生した 13 町の一つで、市内の南の台地に在って富士山の眺望が良く、長命の意の「不死身」に通ずる「富士見町」と命名されました。
- ◆町の中央に 12.1ha の都立中央公園を擁し、南に野火止用水、北に空堀川の清流が貫き、緑と流量豊かな街中は散策路が縦横に整備され、「健康と憩いの町」と言われています。
- ◆元東京陸軍少年通信兵学校の跡地には東村山一中はじめ高校、小学校、幼稚園が、また多くの老人施設と斬新な高層住宅が新設され、「文教と福祉と住宅の町」に一変しました。



東村山中央公園



多摩湖歩行者道&100 キロハイク



野火止用水

富士見町会員（17 名）紹介・近況



野村茂樹 羽倉明彦 田口政澄 山本岩男 井原 徹 伊川浩生
紅松 喬 岡田一郎 紅松容子 松永常尚 長野長生 工藤崇士



写真左側から

相馬信一 高橋一彦
月森通夫 尾関彰一
横尾正宏

松永 常尚（昭 30 法学） 稲門会 25 周年と時を同じくして衆の中の動の人生を終えました。人生 100 年時代に在って今、個としての静の人生を送っています。奇しくも遭遇したコロナ災厄の中で、稲門会の存在感とその強い絆を痛感しています。

会員紹介

- 長野 長正（昭 3 2 理工）** 東村山稲門会が発足して 25 年。当時立川稲門会では志村会長がご尽力されていたのを覚えています。今日、当会是多摩地区有数の稲門会になりました。今後益々発展して行く会の一員としての参加を楽しんでいます。
- 月森 通夫（昭 3 5 法学）** 我が家は中央公園まで八十歩の距離にある。富士見町は至る所から富士山が望めた。今では高いビルが多くなり広い公園でも冬晴れの日の裸木の間から二ヶ所だけしか見えない。しかし私の大好きな公園であり富士見町である。
- 田口 政澄（昭 3 6 理工）** オリンピックの感動もコロナの不安で消されつつある時、我が稲門の 25 周年記念の報に接し、大いに元気をいただきました。月日の経つ早さを感じると共に諸先輩、幹事の方々に感謝です。クオーターセンチュリー乾杯！！
- 相馬 信一（昭 3 6 文学）** 馬場から大学まではそろそろ歩いて通った。40 を超す古本屋が軒を並べ私達の帰りを待っていた。今や僅か 4 軒程に減って殆んどが食べ物屋に。本離れと店の後継者難が要因とか。花より団子に激変とは寂しい限りです。
- 岡田 一郎（昭 4 0 商学）** 先人から制作を諭し続けられてきた「記念誌」発行を実現できました。25 周年の祝意と同志がコロナ禍に打ち勝った証左を形にした活動です。悲願成就の記念誌発行を亡き先人諸兄姉と共に祝い、歓喜したいものです。
- 高橋 一彦（昭 4 2 理工）** コロナ騒動はいつ収束するやら？ 私の唯一の楽しみな稲門会活動の一つ「テニス」は今や縁遠い存在。持病のパーキンソン病の進行により体力低下等に悩むようになりましたが、諸事やりくりしつつ生き伸びております。
- 井原 徹（昭 4 4 法学）** 一番の思い出は「稲門会の歌」だ。千代田稲門会の歌に刺激されて、当時の山下会長と全国二番目を目指した。ボニージャックス西脇さんが薄謝で作曲してくれ、詩は会員から募って 2006 年に見事に完成した。
- 紅 松 喬（昭 4 5 商学）** 杉並に生まれ育った私も東村山に来てもう 40 年。公園や湖、川など多くの緑に囲まれ、愛犬との散歩やゴルフ場へのアクセスも便利。都会過ぎない所が丁度良い。もうしばらくこの地にお世話になろう。
- 紅松 容子（昭 4 5 教育）** 平成 14 年春に主人と入会しました。お誕生会幹事になってからは知り合いが増え、親しくお話しでき嬉しく思っています。近年先輩方の訃報が増え、校歌を力一杯唄われていた姿などを思い出しく思っています。
- 山本 岩男（昭 4 5 法学）** 入会して 10 年が過ぎました。私が稲門会に入会した目的は、会社関係だけでなく、東村山市の中に友を得、微力ながら地域社会に貢献をすることでした。この目的はある程度達成しましたが、初心を忘れずに頑張ります。
- 野村 茂樹（昭 4 6 教育）** 会報を自宅に届けてくれたのでテニス同好会がある事が判明し入会した。始めは月に 1 回くらいのプレーでしたが 7 年前に世話人を引き受け、吉田劭さんと月に 4～5 回プレーする様にして活発な同好会になったと思う。
- 尾関 彰一（昭 4 9 法学）** 最近よく夢を見る。現役の頃の仕事に関するものが多い。対人関係での失敗が多く、当時の同僚先輩が夢の中に登場する。あの時こうすればよかったと夢の中で反省しても手遅れである。嫌な夢を見るのは自業自得だろう。
- 伊川 浩生（昭 5 3 文学）** 早稲田の仲間は本当に有難い。今でも大学入学当時のクラスメート 10 人くらいとメールで盛んにやり取りをしています。コロナ禍の前はこの歳になっても年に何回かは集まって飲んでいました。早く宣言が解除されてほしいですね。
- 工藤 崇士（昭 5 4 商学）** 妻の実家の東村山に住んで 40 年余になりました。リタイア後の地元への足掛りにと稲門会の門をたたきました。趣味は山登りと溪流釣り。これからカラオケやら麻雀やらサークル活動に参加したいと思います。
- 羽倉 明彦（昭 5 6 法学）** 卒業して 40 年。早稲田時代ノビノビと過ごせた分、社会人生活も飄々と楽しく乗り切ることができました。これで一区切りと自発的に通信制で大学生に戻り、次の楽しみを模索しております。引き続き宜しくお願いします。
- 横尾 正宏（昭 6 0 理工）** 東村山稲門会 25 周年おめでとうございます。私が富士見町に引越してきて 25 年経ちます。学生時代は西武線沿線に下宿しており、こちらに居を定めました。在宅勤務が多いこの頃、公園の緑を楽しんでいます。